

ねりとう GOLF

練馬稲門会ゴルフ部会会報

2017年冬号

Vol.19

§ 毎年恒例の練稲ゴルフ部会総会兼忘年会開催 §



(2016年12月8日 於:「茶平」)

昨12月8日、同日開催の12月度月例コンペの表彰式を兼ねて“総会&忘年会パーティー”を区内桜台の中国料理レストラン「茶平」で開催しました。冒頭、高崎幹事長から総会承認事項として栗原副部会長の部会長就任、牛山会計監査人の再任について提案があり、満場一致で承認されました。それ以外の幹事人事と会計報告の承認手続きについても報告・提案があり拍手で承認されました。総会の後は懇親会に入り、冒頭で戸津川部会長が挨拶、新体制について「コンセプトは若返り」との説明がありました。また、席上、地平新幹事長と新入会員の伊藤茂樹氏が紹介されそれぞれ抱負を語っていただき、最後は会員の健康と会の発展を祈念して蔵本常任幹事の音頭による五本締めで散会しました。(新体制の詳細は5ページをご覧ください)



◆平成28年後半の振り返りと退任のご挨拶

ゴルフ部会 前部会長 戸津川隆久



平成28年後半の月例競技は一度も雨に降られることもなく、皆様のご協力により無事終了することができました。

さて、一昨年(2016年)の12月末に前部会長の中島さんからバトンを受けゴルフ部会長に就任してから丁度2年になります。就任に当たってはチームワークでの部会の運営を行うべく役割分担を明確にしました。特に常任幹事の皆様にはコースの選定・予約、ハンデの管理、会計を含む事務局、広報担当等をお願いしスムーズな部会運営ができたと考えております。ただ、他の部会では

幹事の若返りが進んでおり、これを機に当ゴルフ部会でも若返りを行うべく私を含め高崎さん、蔵本さんの後期高齢者3人がリタイヤし栗原部会長のもと地平さんを新幹事長に、三宅さん、西水流さん(3人とも60代)を新幹事に迎え部会の運営を行うことに致しました。今後は一会員として健康維持のため月例会には参加させていただきたいと思っております。最後に幹事の皆様、会員の皆様のご協力に感謝致します。有難うございました。

平成 28 年度後半月例コンペ成績

◆9 月度(第 165 回)月例コンペ

[個人成績]

9月27日(火) / 晴れ時々曇り 28℃
高麗川カントリークラブ

優勝 田中 進 氏 (S52・政経)

優勝	田中 進	68.8 (88-19.2)
2 位	地平 達郎	71.6 (98-26.4)
3 位	西水流 富男	72.8 (100-27.2)
バsgロ	田中 進	88 (44+44)



9 月度月例コンペに優勝して

5月の高坂カントリーに続いて、何と9月の高麗川カントリーでも今年2回目の優勝をしてしまいました。本人も大変驚きです。5月の優勝の後、ハンデが大幅に低くなったため、優勝どころか入賞も無理と思っていたのですが、6月のコンペが終わった後の夏休みの間に会員全員のハンデが見直しされ、それに伴い私のハンデもまた増えました。新参加のため、そうした制度があることを知らず、思いがけず1年に2回の優勝という快挙を遂げることになりました。ルールを決めて下さる幹事の皆様にお礼を申し上げます。

今回の優勝で、私のハンデはジェットコースターのようにまた下がりました。今度こそ入賞のチャンスはなくなったと思いますが、練稲ゴルフコンペにはできる限り参加させていただきます。何しろ大変楽しく先輩方とお付き合いできる絶好の機会ですから。



◆10 月度(第 166 回)月例コンペ

[個人成績]

10月28日(金) / 曇り 12℃
越生ゴルフクラブ

優勝 大堀 博之 氏 (S39・商)

優勝	大堀 博之	64.6(79-14.4)
2 位	青木 和弘	71.8 (92-20.2)
3 位	三宅 成嘉	72.4 (98-25.6)
バsgロ	大堀 博之	79 (38+41)



瑞江プロのアドバイスに感謝

この日はスタートから意識して無駄な時間を省き、パッティングに時間を作るようにしました。歩測をし、反対側に回って傾斜や芝目を読み、キャディに確認してボールの通るラインをイメージします。そしてストロークをルーティーンしてから、瑞江プロのアドバイス「指先の神経まで集中してカップインを狙え」をイメージしてパッティングします。飛ばす楽しみ、好スコアの楽しみ同様、パッティングの転がりを楽しむ自分に結構満足しております。結果、この日のパット数は28、初優勝万歳です。

「ゴルフは全てのショットの前にルーティーンしてもいい珍しいスポーツです。ルーティーンしながら、球の飛び方、転がりイメージしてスウィング出来れば、あなたのゴルフは確実に階段を上がれます」と本誌のエッセーに書きながら自身はなかなか結果を出せないでいましたが、ようやく有言実行できホッとしています。そして次の目標は「アブローチを楽しめるようになりたい」です。

★ねりとうGOLFは生涯スポーツ★

◆11月度(第167回)月例コンペ

11月17日(木) /曇りのち晴れ 13℃
入間カントリー倶楽部

優勝 牟田 龍一郎 氏 (S35・理工)

[個人成績]

優勝	牟田龍一郎	73.4 (87-13.6)
2位	山口豊隆	73.6 (88-14.4)
3位	三宅成嘉	74.0 (97-23.0)
バsgロ	牟田龍一郎	87 (43+44)



練稲ゴルフ会での久しぶりの一位、嬉しく思います。そんななかでゴルフの来し方行く末について考えてみました。

先ず、日本におけるゴルフの一大転機となったのは終戦から12年の時が過ぎた1957年です。7月に日本ゴルフ協会が設立され、その直後の10月に霞ヶ関カントリー倶楽部でカナダカップを開催、中村寅吉、小野光一の日本チームが優勝しました。中村プロは個人戦でも優勝し、まだ敗戦を引きずっていた日本人の憧れとなり、これをきっかけにゴルフブームに火が付きました。そして、それから35年後の1992年にはゴルフ人口が1400万人になるまでに成長し続けました。

しかし今やゴルフ人口は700万人近くまで減少し、少子高齢化が進む中その継続が危惧されるスポーツに挙げられています。そもそも狭い国土にかかわらずゴルフ場2400ヶ所、プレイヤーの数はアメリカ2860万人に続く2位。適当な競技人口という議論もあります。そんなゴルフの盛衰を目の当たりにしてきた小生も本年(注:昨2016年)11月にて80歳、目標85歳までもっとゴルフを楽しみたいと思っています。



◆12月度(第168回)月例コンペ

12月8日(木) /晴れ 12℃
高坂カントリークラブ

優勝 栗原 英明 氏 (S40・商)

[個人成績]

優勝	栗原英明	68.4(94-25.6)
2位	根岸周平	74.0(90-16.0)
3位	飯島孝	74.2(99-24.8)
バsgロ	越智慎二郎	84 (41+43)



早いもので、練馬稲門会に入会しゴルフ部会にお世話になって丸5年経過しました。殆どの月例会に参加し、グアム島ツアーやハワイゴルフツアーにも参加させて頂きました。2位3位は4~5回あったと思いますが、今回のように優勝は初めてです。

年々体力は低下し、スコアも悪くなる一方でしたので優勝することはないと思っていました。とは言え昨年、前の会社のOB会コンペで92というスコアでラウンドすることが出来ましたので、もしや?と言う望みは密かに持っておりました。でもそれが実現することになり、本当に嬉しく思っております。

この何年間、練習することは全く無く、年に10回程度ラウンドする位ですから上達するはずがありません。これからはアプローチとパターだけはしっかり磨き皆さんに負けないように精進したいと思います。

これからも宜しく願い申し上げます。

★ ねりとうGolfは健康第一 ★

//////////////////// 会 員 サ ロ ン //////////////////////



練稲ゴルフの魅力

田辺 攻 (S43・理工)

「人生80年は、学びの20年、奉仕の40年、ご褒美の20年に大きく分けられる」という。7年前に現役を引退した後、この説に従い、練馬稲門会に入会し、麻雀・囲碁を楽しんできた。ゴルフ部会はまだ入会して1年2か月で、毎回新人の気持ちで臨んでいる。昔からゴルフ仲間は多く、年40回程プレーをしているが、もっぱら安いコースを求め、栃木や千葉まで車を飛ばして出かけることが多い。練稲ゴルフ部は近隣の一流コースが特別価格でプレーでき大変魅力を感じている。特に高齢になると近場のコースは有難い。石坂ゴルフ倶楽部や鳩山カントリークラブなど初めてのコースでのプレーも楽しい。入会后6回目までは何とか100以下のスコアを保持してきたが11月、12月は苦戦し、連続してブービー賞をいただいた。嬉しいような恥ずかしいような複雑な気持ちに陥る。今年は、年男でもあり、何とかベスト3を目標に頑張りたい。そして諸先輩のように80歳を超えてもグリーンに立ちたいと願っている。



いまだ続くゴルフの悩み

地平 達郎 (S47・政経)

早稲田卒業後、新聞社の運動部で約12年務めたあと、出版社に転職し、月刊誌「ゴルフクラシック」の創刊に携わった。

そこで「もっと深く、もっと楽しく」という連載を中部銀次郎さんをお願いしたことから、お付き合いいただくことになった。

居酒屋をはしごして、帰るのは日付が変わってから——がお決まりのパターン。たまに芝の練習場でゴルフも見てもらった。

始めたばかりで、師匠は日本アマ6回優勝の中部さんだから、言われたことは実行するしかない。当時も今も「クラブヘッドは真っすぐに引け」が主流のようだが、中部さんのそれは違った。右足の斜め後方にボールを置いて、そこに引け——と教わった。

極端なインサイド・テークバックで、それが私のスイングになった。後年、あるプロから「それは中部さんだからこそその話。素人には無理ですよ」と言われたが時すでに遅し。いまだに悩み続けている。



私の座右の銘

伊藤 茂樹 (S51・商)

私は30歳頃からプレーはしていますが、ゴルフに熱中し始めたのは53歳の頃からです。レッスンプロに習ったことはありませんが、多くのレジェンドのゴルフ本を読みました。その中で最も影響を受けたのは杉原輝雄プロの「誰でもシングルになれる」であり、「細部にこだわらず、体全体で

思い切りよくスイングせよ」というお言葉を私のゴルフスイングの座右の銘にしています。

この本によれば「誰でもシングルになれる」はずなのですが、残念ながら私は100前後を右往左往しています。その原因の多くはパッティングにあるものと思われます。パッティングを「体全体で思い切りよく打つ」訳にはいきませんので、岡本綾子プロの「ボールから目を離すな」と藤田寛之プロの「低く長くフォロースルーを出す」をパッティングの座右の銘として、まずは、たまには90を切れるプレーが出来るようになることを目指したいと思います。

◆ 1月から新体制がスタート

昨12月8日に開催された総会で栗原副部会長の部会長就任とそれに伴う幹事の変更が承認されました。新役員・幹事の任期は今1月から2年間となります。引き続き、会員各位のご理解と一層のご協力をお願いいたします。また新体制の発足に伴い、戸津川部会長、高崎幹事長、蔵本常任幹事の3氏が退任されます。役員・幹事としての永年にわたるご尽力に感謝申し上げます。

新体制は下記の通りです。

部会長	栗原 英明 (S40 商)	
幹事長	地平 達郎 (S47 政経)	総会、幹事会、表彰式・パーティー進行運営、ほか
常任幹事	大堀 博之 (S39 商)	競技委員長
常任幹事	飯島 孝 (S42 法)	事務局長・会計担当
常任幹事	山口 豊隆 (S44 商)	ハンディキャップ委員長
常任幹事	宇根 等 (S46 政経)	広報委員長
常任幹事	越智慎二郎 (S49 政経)	渉外委員長・広報担当
会計監査	牛山 彰紀 (S44 教育)	地区担当幹事兼任
幹事	塩田 順康 (S40 商)	地区担当
幹事	西水流富雄 (S51 社会)	地区担当
幹事	三宅 成嘉 (S51 商)	地区担当



ゴルフ部会長就任にあたって 栗原 英明



この度、戸津川前部会長の後任としてゴルフ部会長に就任することになりました。戸津川前部会長、中島前々部会長のお二人ともゴルフ上手でプレー面でも引っぱりでしたが、ゴルフ下手の私には到底及ぶべくもなく、後任のご要請を受けてからも固辞し続けてきました。しかしながら、「若返りを図りたい」との戸津川前部会長の強いご意思に根負けしお引き受けすることになった次第です。ただお引き受けした

た以上は、ゴルフ部会のよき伝統を汚すことのないよう努力してまいりたいと思います。

申し上げるまでもありませんが、ゴルフ部会の目的の第一は会員相互の親睦を図ることにあります。従って戸津川前部会長同様、先ずは“明るく、楽しく”をモットーに幹事の皆様と協力しながら部会運営を行ってまいります。不備な点やご要望等がありましたらご遠慮無くお申し出ください。できる限り対応させていただきますので、今後ともご協力の程よろしくお願い申し上げます。

幹事会だより

◆ 「セルフプレー」アンケート調査結果と検討状況について

昨年10月に「セルフプレー」に関するアンケート調査を実施させていただきましたが、会員80名のうち34名の方からご回答をいただきました。そのうち「積極的に参加」とのご回答をいただいた方が11名、「参加はする」とご回答いただいた方が16名、「参加しない」とご回答いただいた方が7名でした。前幹事会では、この結果を受けて、キャディ付きの組とセルフ組の混合でのラウンドを試行的に実施する方向で、実施可能なコース探しと並行してハンディキャップの設定など実施に当たっての課題を検討していくことになりました。

◆ 2月11日に練稲新年会を開催ーゴルフ部会が担当幹事部に

「練稲PRESS」や「練稲メルマガ」で既にご案内の通り、来る2月11日(土)午後6時から練馬駅北口前のCoconeriホール(3階)で新年会を開催します。会は第一部「お箏と落語の夕べ」、第二部「懇親会と和太鼓演奏」の二部構成となっており、箏演奏は松波千紫(H17人間科学部卒)、落語は古今亭志ん吉(H14文学部卒)、和太鼓はTAIKO-LAB 浅草盆太鼓の皆さんがそれぞれ出演します。この新年会はゴルフ部会と麻雀部会が幹事部となっており、皆様の奮ってのご来場をお待ちしています。(詳細は「練稲PRESS」または「練稲メルマガ」ご覧ください)

◆『ねりとうゴルフ交流塾』を開催—2月23日にも第8回を開催

去る1月13日に、お互いに学び合いながら楽しく交流する場として、「ねりとうゴルフ交流塾」を大泉町の学園ゴルフセンターで開催しました。当日は、日本女子プロゴルフ協会会員で学園ゴルフセンター所属の五十嵐瑞江プロ（写真）による練習器具を使つての模範スイングに見入ったり、フォームづくりのアドバイスに熱心に聞き入りながら2時間の交流を楽しみました。



この「ねりとうゴルフ交流塾」は一昨年から月例コンペがない夏と冬に各2回開催しており、来る2月23日(木)には第8回が開催されます。会場は同じ学園ゴルフセンターで時間は9:30~11:30です。この機会を会員交流と技術向上に是非お役立てください。



[会計報告] 平成28年7月～12月（6カ月間）

単位：円

収 入		支 出	
1. 会費（月例4回、忘年会）	362,000	1. 賞品代（4回）	130,000
2. チャリティー（4回）	36,600	2. パーティー代	235,390
3. 事務局よりの補助	65,000	3. 会報誌発行費	30,223
4. 雑収入（キャンセル料等）	7,000	4. 交流塾費用	40,000
5. 前期からの繰越し	208,315	5. 次期への繰越し	243,302
合 計	678,915	合 計	678,915



★ 平成29年度前半（3～6月度）月例会予定表 ★

月度（通算回数）	期日（曜日）	開催コース
3月度（169回）	3月30日（木）	入間カントリー倶楽部
4月度（170回）	4月25日（火）	富貴ゴルフ倶楽部
5月度（171回）	5月23日（火）	武蔵 OGM ゴルフクラブ
6月度（172回）	6月9日（金）	高坂カントリークラブ・米山コース

※会員各位は日程をご確認いただきスケジュール表への記入などをお願いします。



編集後記

新しい年を迎えゴルフ部の運営は戸津川体制から栗原体制へバトンタッチされました▼この2年間、権限の委譲を徹底される戸津川部会長の方針により部の運営は大変スムーズでした。持ち回りの優勝カップの取り止めや商品券による賞品の廃止など様々な改革を行ないました。また、月例会が開催されない冬と夏にゴルフ交流塾を開催し部員のゴルフの上達と交流を図りました。戸津川さん、お疲れ様でした▼新しい体制が発足しましたが、今後も栗原部会長を中心に練馬稲門会々員のゴルフ仲間の交流・親睦の場として活動してまいります。月例会では閑越沿線の名門コースで格安な料金でプレーできます。皆様の月例会への積極的なご参加をお待ちしております▼ところで、会報の編集発行をお手伝いいただける方、募集します。経験は問いません。お待ちしております（宇根記）

- * ねりとうGOLF2017年冬号 Vol. 19 発行日：平成29年1月31日
- * 発行：練馬稲門会ゴルフ部会 電話：03-3994-8212 FAX：03-3994-8219
- * 編集：宇根等 越智慎二郎
- * 印刷：（有）ヒイラギ堂 電話 = 03-3933-9591

